

市立病院だより

地域の医療機関と**二人三脚**で、あなたを支えます

知っていますか？ 主治医(かかりつけ医)や周辺病院との関係

Q 地域医療連携はどうして必要なの？

▶大きな病院へ患者さんが集中しないように最適な医療を提供

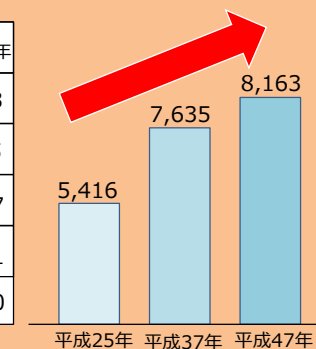
地域のクリニックや診療所と市立病院が連携して治療（地域医療連携）する理由は、大きな病院に患者さんが集中してしまうことで、高度な診療を必要としている「重篤（じゅうとく）な患者さん」の治療等に影響が出ないようにするためです。

▶地域医療連携は、厚生労働省が推奨している「全国的な取り組み」

急速な高齢化が進む背景のなか、地域医療連携は、厚生労働省が推奨している取り組みです。草加市立病院は二次医療機関として病状に応じた「適切な治療」を提供できる様、役割を分担していきます。

埼玉県東部区域医療需要推計（人／日）

	平成25年	平成37年	平成47年
需要合計	5,416	7,635	8,163
高度急性期	501	623	635
急性期	1,595	2,171	2,267
回復期	1,711	2,461	2,601
慢性期	1,609	2,380	2,660



埼玉県地域医療構想より



草加市立病院は地域のクリニックや診療所の先生と一緒に、患者さんの健康をお守りしていきます。

▶発行 草加市立病院 〒340-8560 埼玉県草加市草加2-21-1 / tel : 048-946-2200

▶<http://www.soka-city-hospital.jp>

平成30年8月発行